畠山重忠公像

源義仲公騎馬像
（「倶利伽羅峠の戦い」の舞台富山県小矢部市）

畠山重忠と木曽義仲の歴史

来年１月放送開始の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」。このドラマに嵐山町ゆかりの武将「畠山重忠」「木曽義仲」が登場します。

広報嵐山では、２人の人物像を紹介していきます。ドラマの放送開始に向け２人の情報を事前にチェック！

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会企画

比企の歴史まるわかり！9市町村広報リレー　嵐山町版

来年１月、ＮＨＫで放送開始予定の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」。ドラマには中川大志さん演じる畠山重忠、青木崇高さん演じる木曽（源）義仲が登場します。２人とゆかりのある史跡をご紹介します。

畠山重忠の館跡

菅谷館跡

嵐山町マスコットキャラクター
むさし嵐丸

菅谷館跡
詳細はこちら

～重忠の最期～

幕府権力を握ろうと急ぐ北条氏。重忠はその謀略に倒れます。1205（元久2）年、北条時政に呼び出された重忠は、この菅谷館跡から鎌倉へ出立。その途中、二俣川（横浜市旭区）で北条氏らの大軍の待ち伏せにあい、42歳で非業の死を遂げました。

～畠山重忠公像～

菅谷館跡内の畠山重忠公像。この像は平服である烏帽子姿で鎌倉を向いています。これは重忠の幕府への想いを示しています。

木曽義仲ゆかりの神社

鎌形八幡神社

鎌形八幡神社
詳細はこちら

～嵐山町で産まれた義仲～

1155（久寿2）年、嵐山町大蔵の地で起きた大蔵合戦。この勢力争いにより父「義賢」が討たれましたが、3歳の義仲は重忠の父「重能」らのはからいで、木曽（長野県）へ逃れました。一命をとりとめた義仲は、その後の時代に大きな影響を与えることになります。

～伝木曽義仲産湯の清水～

嵐山町鎌形で産まれたとされる義仲。その義仲誕生の際に産湯を沸かしたとされる清水があります。

問合せ　地域支援課　☎62-2152

12月は鎌倉時代に『万葉集』を全て読み解いた「仙覚律師」ゆかりの地、小川町です。

～武勇と教養に優れた武将の鏡～

畠　山　重　忠

嵐山町菅谷に館を構えたとされる畠山重忠は、源頼朝の重臣として活躍した人物です。源平合戦で多くの武功をあげただけでなく、音曲の才能にも秀で、教養も兼ね備えていた重忠は鎌倉幕府を開いた頼朝から厚い信頼を受けていました。

頼朝が京に入る際の先陣を務めたり、頼朝の死後、子の頼家の後事を託される等、重忠は幕府の重要人物となっていきます。しかし、幕府権力を握ろうとする北条氏にとって、重忠は邪魔な存在でした。北条時政は畠山一族に幕府に対する反乱の下心があるとして、重忠を呼び出します。その道中、北条氏らの大軍の待ち伏せにあい、重忠は討ち取られます。

権力争いにより、無実で討たれた重忠。その非業の死はドラマでどのように描かれるのでしょうか。

～栄光の朝日将軍から悲劇の武将へ～

木　曽　義　仲

嵐山町鎌形で産まれたとされる木曽義仲。わずか３歳の義仲は嵐山町大蔵の地で起きた大蔵合戦に巻き込まれ、木曽（長野県）へ逃れました。

木曽で成長した義仲は平家追悼の兵を挙げ、「倶利伽羅峠の戦い」等で平家の大軍を相手に連勝。京都から平家を追い出し、朝廷から朝日将軍の称号を賜り、征夷大将軍にも任じられる等、武将として最高の栄誉を勝ち得ました。

しかし、義仲の勢いを恐れた後白河法皇と対立。法皇は源頼朝に向け義仲追討の命を出します。

頼朝が派遣した源範頼・義経の大軍に敗れ、義仲は討ち取られます。

権力争いよる、栄光から悲劇への転落。そのストーリーがドラマでどのように描かれるのか注目です。

～ 2022大河ドラマ「鎌倉殿の13人」あらすじ～

華やかな源平合戦、その後の鎌倉幕府誕生を背景に権力の座を巡る男たち女たちの駆け引き―源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした男　二代執権・北条義時。野心とは無縁だった若者は、いかにして武士の頂点に上り詰めたのか。新都鎌倉を舞台に繰り広げられる、パワーゲーム。義時は、どんなカードを切っていくのか ―

（NHKホームページより引用）【放送予定】 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」（NHK）２０２２年放送予定

ドラマ詳細はこちらから

NHKホームページ

ドラマ公式ツイッター

広報嵐山12･1月号では重忠、義仲の人柄や活躍を掲載予定です。お楽しみに！